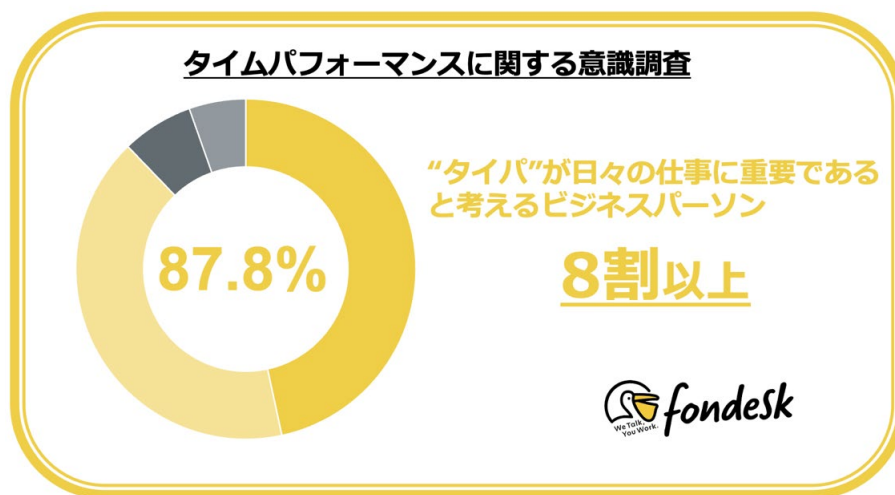


ビジネスパーソンの8割以上が「タイパ」を重視して働いていると回答！

1日の業務時間のうち電話対応に割いている時間は「平均38.7分」、
「最大では180分」といった実態も判明

～fondesk、最新の働き方に関する意識調査を実施～

労働力不足問題解決のリーディングカンパニーとして、複数のSaaSを展開する株式会社うるる（東京都中央区 代表取締役社長：星 知也）が運営する、電話取次サービス「fondesk」は、全国のビジネスパーソン500名を対象に、ビジネスにおけるタイムパフォーマンスに関する意識調査を実施いたしました。



【調査サマリー】

- ビジネスパーソンの8割以上（87.8%）が、タイパ（タイムパフォーマンス）が日々の仕事において重要と回答。タイパが重要な理由1位は「早く仕事を終わらせたい」。〈結果1〉
- ビジネスパーソンの4割以上（46.9%）は、タイパ向上のために個人的に行っていることがあると回答。1位は「複数のタスクを同時並行で行っている」。〈結果2〉
- 1日の業務時間のうち電話対応に割いている時間は「平均38.7分」。最大「180分」という回答も。〈結果3〉
- 4割以上（44.4%）が、オフィスにかかってくる電話のうち「5割以上がムダな対応だと感じる」と回答。〈結果4〉

【調査背景】

働き方改革の推進や、日常的に触れる情報が多角化している現代において、昨今、費やした時間に対する成果や満足度の効率を意味する「タイムパフォーマンス」を重視する考え方がトレンドとなっています。日本経済新聞社が発表した2022年の日経MJヒット商品番付にも「コスパ&タイパ」が入るなど、消費者のニーズの変化に合わせて、さまざまなサービスも展開されています。

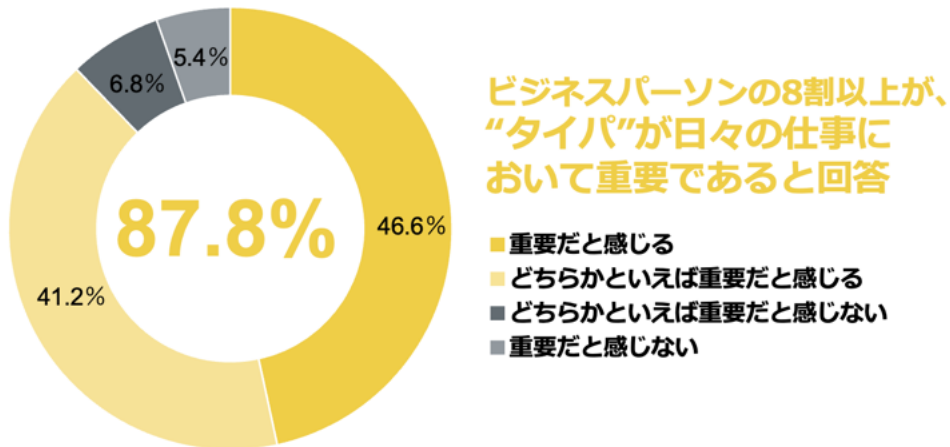
そうした背景を受け、ビジネスパーソンがタイムパフォーマンスをどのように受け取っていて、日々のビジネスシーンにどのように取り込んでいるのか、意識調査を実施しました。

【調査結果】

<結果1>

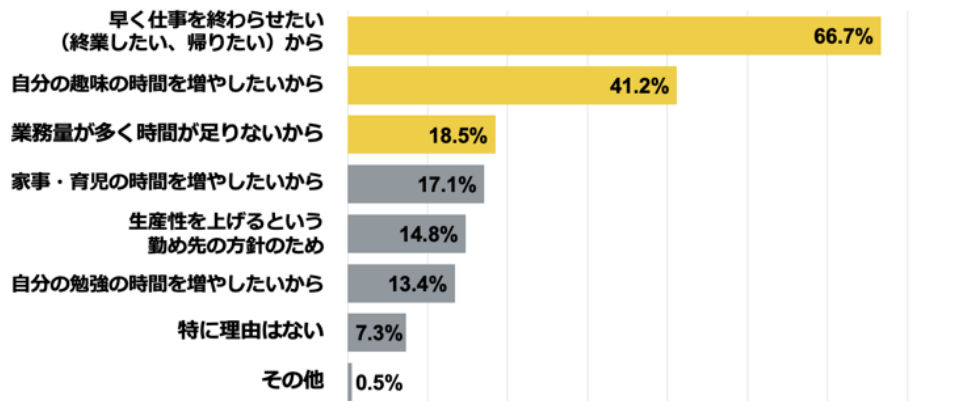
ビジネスパーソンの8割以上（87.8%）が、日々の仕事においてタイパ（タイムパフォーマンス）が重要と回答する結果に。タイパが重要な理由は「早く仕事を終わらせたい（終業したい、帰りたい）から」（66.7%）が1位となり、次いで「自分の趣味の時間を増やしたいから」（41.2%）、「業務量が多く時間が足りないから」（18.5%）となった。

Q.日々の仕事において、タイムパフォーマンスが重要だと感じますか。



【単一回答、n=500】

Q.タイムパフォーマンスが重要だと感じる理由について当てはまるものをお選びください。



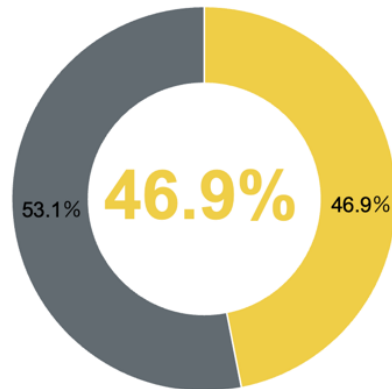
【複数回答、n=439】

<結果2>

ビジネスパーソンに対して、タイパ向上のために個人的に行っていることがあるか聞くと、全体の4割以上（46.9%）が「ある」と回答。具体的に行っていることは「複数のタスクを同時並行で行っている」（48.5%）が1位となり、次いで「スケジュールに予定を登録して埋めている」（39.8%）、「メッセージのやり取りは、メールではなくなるべくチャットツールやSNSを使用している」（23.3%）となった。

また、「オフィスにかかってくる電話はなるべく取らないようにしている」（8.7%）といった回答もあった。

Q.タイムパフォーマンス向上や業務効率化のために個人的に行っていることはありますか。

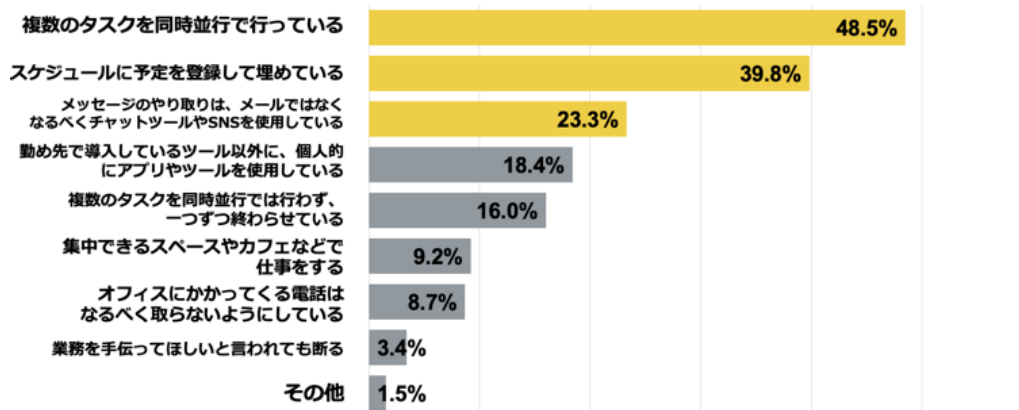


タイパが重要だと考えるビジネスシーンの4割以上が、個人的に“タイパ向上”に取り組んでいることがあると回答

■ はい
■ いいえ

【単一回答、n=439】

Q.タイムパフォーマンス向上や業務効率化のために、どのようなことを行っていますか。



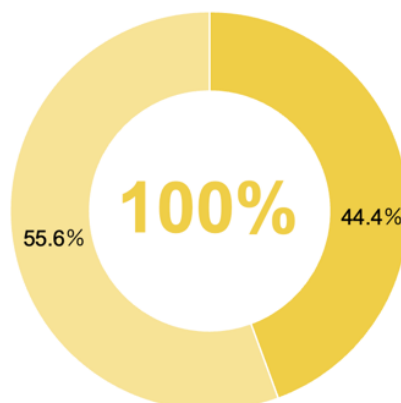
【複数回答、n=206】

<結果3>

タイパ向上のために「オフィスにかかってくる電話はなるべく取らないようにしている」と回答したビジネスパーソンに対して、オフィスでの電話対応によって仕事が中断された経験があるか聞くと、100%が「中断されたことがある」と回答。

1日の業務時間のうち電話対応に割いている時間は、「平均38.7分」、最大では「180分」という結果に。

Q.オフィスでの電話対応によって仕事が中断された経験はありますか。



オフィスの電話をなるべく取らないようにしているビジネスパーソンは、全員が電話対応で仕事が中断された経験があると回答

■ 頻繁に中断されている
■ 中断されたことがある
■ 一回も中断されたことはない

【単一回答、n=18】

Q. 1日何分程度、オフィスでの電話対応をしていますか。日によって異なる場合は平均的な時間を記入ください。

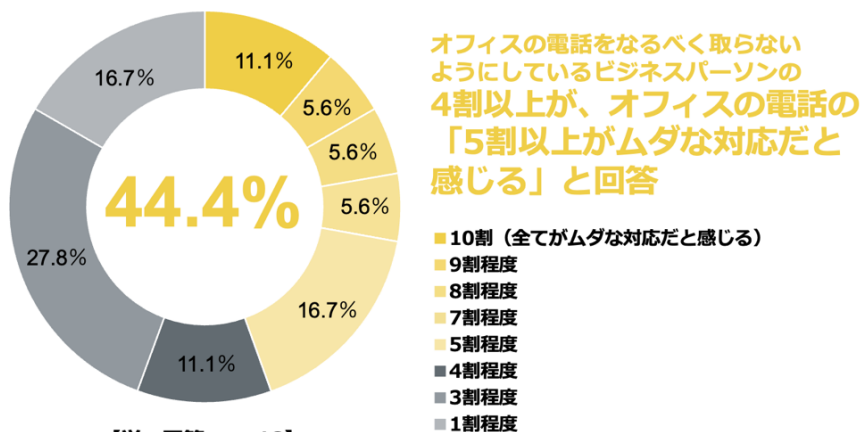
平均 **38.7分**

【自由回答、n=18】

<結果4>

タイパ向上のために「オフィスにかかってくる電話はなるべく取らないようにしている」と回答したビジネスパーソンの4割以上（44.4%）が、オフィスにかかってくる電話のうち「5割以上がムダな対応だと感じる」と回答する結果に。

Q. オフィスでの電話対応のうち、どの位の割合でムダな電話対応があると感じますか。



【単一回答、n=18】

【考察】



株式会社うるる 執行役員 fondesk事業管掌 脇村 瞬太

この度の調査により、昨今のビジネスパーソンの「働き方」に関する最新の実態が見えてきました。ワークライフバランスなどの観点から、「早く仕事を終わらせたい（終業したい、帰りたい）」、「自分の趣味の時間を増やしたいから」といった前向きな回答が多い中、「業務量が多く時間が足りないから」など、タイパ向上が必須になっているビジネスパーソンが一定数いることがわかりました。

さらに、タイパ向上のために個人的に行っていることでは、「複数のタスクを同時並行で行っている」、「メッセージのやり取りは、メールではなくなるべくチャットツールやSNSを使用している」といった純粋な効率を上げるための取り組みに対して、「オフィスにかかってくる電話はなるべく取らないようにしている」、「業務を手伝ってほしいと言われても断る」といった声も少数ながら回答があり、会社の業務環境にかかわる問題となっていることもうかがえます。

日々の電話対応においては、1日平均38.7分もの時間を割いていることがわかり、電話対応を「ムダな対応」と考えているビジネスパーソンがいる実態も浮き彫りになりました。

「fondesk」は、「電話対応で仕事が進まない」、「電話番の人手が足りない」、「電話対応のために出社している」といったオフィスの課題を解決する電話取り次ぎサービスです。「fondesk」が電話の一次対応を行うことで、本来の業務に集中することができ、社員個人だけでなく、企業のタイムパフォーマンス向上を推進します。

【調査概要】

- ・調査名：タイムパフォーマンスに関する意識調査
- ・調査対象：全国のビジネスパーソン
- ・調査方法：インターネット調査
- ・調査期間：2023年2月16日～2月19日
- ・サンプル数：500名

■電話取り次ぎサービス「fondesk」について (<https://www.fondesk.jp/>)

サービス動画：<https://youtu.be/eWBZhydLjtQ>

1、シンプル・安心な料金体系

月50件までは、月額基本料金10,000円（税抜）。51件目以降は1件につき200円（税抜）でご利用いただけます。

2、質の高い電話対応

「fondesk」を運営する株式会社うるるは、クラウドワーカーが約45万人登録する「シュフティ」も運営。クラウドワーカーの中から一定の採用基準をクリアしたスタッフが、電話対応をします。

3、即日利用開始が可能

手続き書類は不要。Webのみで手続き・決済が完了できて、約5分で利用開始できます。14日間の無料トライアルも実施中です。

【うるるグループ 概要】株式会社うるる (<https://www.uluru.biz/>)

設立：2001年8月31日

所在地：東京都中央区晴海3丁目12-1 KDX晴海ビル9F

代表者名：星 知也

事業内容：

◆CGS (Crowd Generated Service) 事業 ※CGSとは、クラウドワーカーを活用したうるる独自のビジネスモデル

- ・電話取次サービス「fondesk (フォンデスク)」
- ・入札情報速報サービス「NJSS (エヌジェス)」 「nSearch (エヌ・サーチ)」
- ・幼稚園・保育園向け写真販売システム「えんフォト」
- ・出張撮影サービス「OurPhoto (アワーフォト)」 ※OurPhoto株式会社にて運営

◆クラウドソーシング事業

- ・プラットフォーム「シュフティ」の運営

◆BPO事業 ※株式会社うるるBPOにて運営

- ・総合型アウトソーシング
- ・高精度のAI-OCRサービス「eas（イース）」
- ・障害者雇用トータル支援サービス「eas next（イース ネクスト）」

■サービスに関するお問い合わせ先

株式会社うるる 担当：上口

E-Mail : hello@fondesk.jp

■報道関係者のお問い合わせ先

うるるPR事務局（株式会社スキュー内） 担当：西尾・中田

TEL：03-6438-9808 E-Mail : uluru_pr@skewinc.co.jp